

支援プログラム

事業所名 : 放課後等デイサービス Pur aile 新井薬師・ひばりが丘

作成日 2026年 2月 1日

事業所理念	放課後等デイサービス Pur aileは、学校・塾等の教育機関ではなく、「就労」を最大の目的に見据えた就労支援機関の一部として活動します。子供達の将来就きたい職業、隠れた才能等を発掘するために、継続して利用してもらえるように支援していきます。			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀、道徳、マナー等を教えていきます。 ・施設内外の活動では常に安全第一とし、さらに虐待や暴力による支配は行いません。 ・毎日1時間、講座の時間を設け、集中力や創作力を向上させるようにします。 			
営業時間	平日	14:30 から 18:30 まで	送迎実施の有無	あり なし
	土曜・長期休暇	10:00 から 16:00 まで		

5領域		支援内容		
本人支援	健康・生活	ねらい ①健康状態の維持・改善 ②生活のリズムや生活環境の形成 ③基本的な生活スキルの獲得 ・来室時や昼食後に視診と検温をして健康観察を行い、体調不良時の把握をいち早く行う。 ・心穏やかに過ごせるように信頼関係を築き、健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出す支援をする。 ・食事・排泄等の基本的な生活の習慣を身につけられるように支援する。また、楽しく食事やおやつを食べられる様に安全に配慮しながら支援をする。 ・整理整頓や片付けの習慣をつけるため声を掛け支援をする。 ・身の回りを整理して、効率の良い生活を送るために必要な基本的技能を獲得出来るように支援する。 ・さまざまな遊びを通して生活スキルを獲得出来る様に環境を整え支援する。また、障がい特性に配慮してタイミングや状況を本人が理解出来る様に「見える化」するなどわかりやすく構造化する。		
	運動・感覚	ねらい ①姿勢と運動・動作の向上 ②姿勢と運動・動作の補助手段の活用 ③保有する感覚の総合的な活用 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化を図る。 ・保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすい様に、メガネなどの各種補助機器を安全に効果的に活用できるよう支援する。 ・感覚や認知の特性をふまえ、環境調整（イヤーマフの使用）などの支援をする。 ・楽しく運動ができるよう、状況（広さ・安全）に合わせた道具や方法を用いて支援する。		
	認知・行動	ねらい ①認知の発達と行動の習得 ②空間・時間・数等の概念形成の習得 ③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の獲得 ・障がい特性に応じた、視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用して、必要な情報を収集しやすいよう、色、音、絵や文字、道具を用いて、認知機能の発達を促す支援をする。 ・環境から情報を取得しやすいよう「見える化」するなど、必要なメッセージを自ら選択し、行動につなげられるよう一連の認知過程の発達を支援する。 ・数量、大小、色の認知など折り紙や画用紙を用いての工作や、遊びの中で取り入れ支援する。 ・認知の特性をふまえ、絵カードやスケジュール表などを用いて、自分に入ってくる情報を適切に処理・行動出来るように支援し、認知の偏りなどひとりひとりの特性に配慮する。 ・様々なおやつを準備し、選べる環境を作り偏食に対する支援をする。また、様々なこだわりに対する支援もする。 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援をする。		
	言語 コミュニケーション	ねらい ①言語の形成と活用 ②言語の受容及び表出 ③コミュニケーションの基礎的能力の向上 ④コミュニケーション手段の選択と活用 ・活動の中で発表や話し合いの機会を設けることにより、言語の習得、自発的な発言を促す支援をする。 ・自分の考えを伝えたり人の意見を聞き入れて相手の意図を理解するなど、人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上のための支援をする。 ・カードやカルタなどの教材、知育玩具を用いて、遊びの中で読みの向上を目指す支援をする。 ・カードやゲームなどの遊びを通して意思の伝達が円滑に出来るように支援する。		
	人間関係 社会性	ねらい ①他者との関わり（人間関係）の形成 ②自己の理解と行動の調整 ③仲間づくりと集団への参加 ・話す、聞く、触れるなどのコミュニケーションや遊びを通して、人との関係を意識し、身近な人との関係を築き、その関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援をする。 ・個々の特性を理解し、ひとりひとりに合わせた声掛けや支援、行動支援を行い、自分の出来る事と出来ない事など自分の行動の特徴を理解し、気持ちや感情の調整ができるように支援をする。 ・集団に参加するための手順やルールを理解したり、相手の気持ちや状況などを理解するための話し合いや声掛け支援を行い、安心して集団へ参加出来るよう、また参加する方法の習得を支援する。		
家族支援	・必要に応じて保護者面談の実施 ・家庭内に関する不安や困りごとの相談・助言	移行支援	・具体的な移行先との連絡調整、相談援助 ・学童併用児童の学童との情報共有	
地域支援・地域連携	・相談支援事業所やその他の障がい福祉サービス事業所との連携 ・学校や併用利用先との情報共有	職員の質の向上	・定期的な支援会議、ケーススタディの実施 ・年間スケジュールに基づいた職員研修の実施	
主な行事等	・季節に応じた行事・制作の実施 ・近隣の農家と連携したイベント（じゃが芋掘り、餅つき大会）の実施			